

矢作川流域圏懇談会通信

R8 山部会編 vol. 1



発行日：令和8年6月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第75回山部会WGを開催しました！

岐阜県恵那市にて第75回山部会WGを開催しました。今回のWGでは、今年度1回目の山部会開催ということで、矢作川流域圏懇談会の意義と第16期の活動目標の振り返りを実施しました。また、各テーマの活動進捗状況の報告を行うとともに、恵那地域の新しい取組みに関する話題提供をしていただきました。

日時：令和8年6月26日（金） 13:30～17:00

場所：恵那市イワクラ公園ヒマリーハウス

参加者：35名（内オンライン参加3名） ※事務局・事務局補佐5名を含む



◆主な会議内容

1. 懇談会の意義と第16期の活動目標・今年の山部会の運営について（事務局）



- ・第15期全体会議資料の抜粋を用いて、矢作川流域圏懇談会の設立背景と目的について説明しました。
- ・第16期における各テーマ（①流域圏担い手づくり事例集、②山村ミーティング、③森づくりガイドライン、④木づかいガイドライン）の活動目標について説明しました。

2. テーマ別の活動進捗状況の報告



テーマ別の活動進捗状況について、担当者より報告し、意見交換を行いました。

■流域圏担い手づくり事例集（元豊田市矢作川研究所 洲崎氏）

- ・「流域圏大学」の実現に繋がる持続可能な流域作りに関わる様々な活動団体に対し、取材レポートをとりまとめた流域圏担い手事例集Ⅵ-Ⅱの簡易製本版を会場にて配布しました。
- ・流域圏担い手づくり事例集Ⅵ-Ⅱの構成や、掲載されている各取材レポートの概要について説明しました。
- ・本事例集の製本版は7月上旬に完成予定であり、完成後は各部会を通じて、関係者に配布する予定であることを報告しました。
- ・流域圏担い手事例集Ⅵ-Ⅱの続編として、本事例集に載せきれなかった取材先を掲載していく予定であることを説明しました。

■山村ミーティング（山部会 丹羽 副座長）

- ・今回話題提供していただく恵那市で活動する団体のように、新しい取組を始めようとしている人々の背中を後押しできるような活動をしていくことを報告しました。

■森づくりガイドライン（山部会 蔵治 座長）

- ・林野庁が発表した森林事業・木材産業の好循環を目指す「森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～」について情報共有しました。
- ・令和8年度第1回とよた森づくり委員会が開催されることを報告しました。

■木づかいガイドライン（一般社団法人 森と子ども未来会議 鈴木代表）

- ・加藤設計株式会社にて昨年から取り組まれている、県産材を活用する事例の「旧津具村プロジェクト」の概要を説明しました。
- ・一般社団法人森と子ども未来会議が取り組んでいる、学童保育所や福祉施設の木造化・木質化を目指す「まちに森を創るプロジェクト」についてパンフレットを用いて情報共有しました。

3. 恵那市の新しい動きに関する話題提供



■タ立山森林塾の挑戦（タ立山森林塾 高草氏）

- ・2000年に発生した恵南豪雨や2005年に実施された「森の健康診断」をきっかけに、2006年にタ立山森林塾が設立されました。また、今年度からイワクラ公園の指定管理者に就任したことを報告していただきました。
- ・チェーンソー講習等の各種講座を通して森づくりの大切さを伝え、森林ボランティアの育成や地域の森林再生のみならず、山村の活性化を目指していることを説明していただきました。
- ・今年度、イワクラ公園で開催したイベントの内容や参加者状況を、説明していただきました。また、今後のスタッフ不足を解消するために、地元の高校生と協働していくことを報告していただきました。
- ・イワクラ公園は、約13haという広大な敷地と延長2kmの遊歩道を有しており、今後の効果的な活用方法が課題です。今後は公園を利用した人々が、流域の抱える課題や森づくりの取組に関心を向けてもらえるような環境づくりに繋がりたいという想いを語っていただきました。

◆主な会議内容

3. 恵那市の新しい動きに関する話題提供



■馬と子どもと暮らしをつくる！“里山循環プロジェクト”

(ほあかりの森 赤塚氏)

- ・実家の養蜂業を営みながら、馬と子どもが、ともに暮らす循環を目指す「里山循環プロジェクト」の概要を説明していただきました。
- ・森林体験として、耕作放棄地となった水田の田植えや、森林に入っていく新作りなどの具体的な活動内容を紹介していただきました。
- ・豊かな森林や生態系があることで蜂蜜が収穫できるため、ミツバチは里山環境のバロメーターであるという考え方を説明していただきました。
- ・馬には里山を再生させる力(①子どもをかえる②人をつなぐ③温かいコミュニティ④森と農地を活かす)があることを説明し、プロジェクトにかけける想いを語っていただきました。

■森をデザインする(こもれび 伊集院氏)

- ・恵那市南部の恵南地区を拠点に取り組んでいる森林整備、木材活用木育活動、今後の展望を説明していただきました。
- ・「森をデザインする」とは、単に木を切るだけでなく、森と人との関係性を再構築することが目標であり、森と関わる人を増やすことが大切であると語っていただきました。
- ・地域で生産され、地域で消費される木材事業の一つとして、恵那市および特別支援学校と連携し、市産材の木材を活用したコンポスト事業に取り組んでいることを説明していただきました。

■恵那市の森林行政(恵那市 柘植氏)

- ・恵那市の森林の現状や施策を説明していただきました。また、森林の多面的機能を守る取組として、継続的に市有林の間伐を実施していることを説明していただきました。
- ・恵那市の森林環境譲与税の活用状況を、説明していただきました。



山部会座長 蔵治氏



洲崎氏



山部会副座長 丹羽氏



鈴木氏



赤塚氏



伊集院氏



柘植氏



高草氏

◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

2. 各テーマ別の話題・活動進捗報告

■流域圏担い手づくり事例集

- ・事例集を通じて、持続可能な流域づくりに繋がる活動をしている人々が連携・サポートし合える体制を構築することで、将来的な流域全体の防災・減災に繋がるのではないかと。(洲崎)

3. 恵那市の新しい動きに関する話題提供

■タ立山森林塾の挑戦(タ立山森林塾)

- ・恵那市の人々がイワクラ公園に対して魅力を感じ、愛着を持って育んでくれるような公園にしていきたい。(山本)

■森をデザインする(こもれび)

- ・恵那市では、若い世代を含む多様な世代が森林に関する様々な取組を行っている。このような活動は、どのようなきっかけで始められるのか。(近藤)
- ▶身近なロールモデルの存在や、タ立山森林塾のような温かい支援者によって、多様な世代が地域に引き寄せられると考える。(伊集院)

今後の予定

次回の山部会 WG・FW は、令和 8 年 8 月 21 日(金)～22 日(土) 根羽村にて開催します。

◆アンケート調査に関するご案内◆

矢作川流域圏懇談会では、活動内容や議論結果を「懇談会通信」として HP に公開しております。

今後、より良い懇談会通信とするため、アンケート調査を実施いたします。

右記の QR コード、または HP よりご回答いただけますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会 事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課(cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

